

**犯罪のない社会を築くために
ふれあい町民のつどい開催**

7月16日、第60回社会を明るくする運動「ふれあい町民のつどい」が中央公民館で行われました。

小中学生、一般を対象に募集した「社会を明るくする運動標語」では、津別小学校4年生の木内基貴くんや津別中学校1年生の星屋和輝くん、一般の部で中橋正典さんが最優秀賞を受賞しました。(今月号お知らせ13ページに掲載)

次に、講師として招かれた保護観察官の西川順一さんによる「ご存知ですか 更正保護を支える人たち」をテーマにした講演では「地域に暖かく迎えてあげることが大切です」と保護観察人の社会復帰に携わる身近な方法が話されました。



**体力アップと健康づくりに励む
運動不足解消！水中運動開催！**



津別町温水プール「すいむ」で、日頃の運動不足を解消するために「みんなで水中運動やりましょう！」が7月8日から10月末までの毎週木曜日に行われ、初回は20名の参加がありました。広い温水プールの中で参加者は2人1組になり、足の筋肉や指のマッサージを行った後、水中ウォーキングをし「マッサージ後は足が軽くなった」と感想を話してくれました。また参加した方の中には「気持ちいい」と楽しんでいる声もあり、楽しみながらできる健康づくりとしては水中運動が最適です。

**町全体が盛り上がりました
拍手喝采！津高祭開催！**

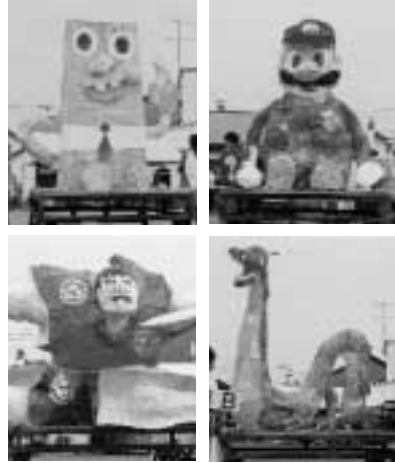
7月17日、18日の2日間、津別高校で津高祭が行われました。

津高祭のメインイベントは『あんどん』と『よさこい』で、町内を練り歩いたあんどんでは1年生が「スポンジポップ」を、2年生が「マリオ」、3年生がクラスごとに分かれ「和」をテーマにしたねぶたと「中華」をテーマに龍を製作し、どれもレベルの高いあんどんに仕上がっていました。

また、津別病院駐車場で行われたよさこい演舞でも多くの観衆を魅了し、最後に津高祭を締めくくる花火が夜空を飾りました。



津高生によるよさこい演舞



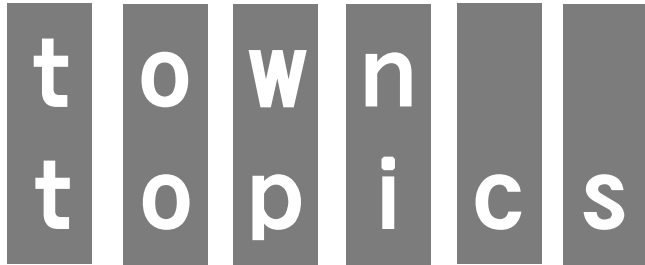
レベルの高いあんどんでした

**つべつサッカー少年団
初の全道大会出場を決めました**

6月19日、20日、網走市呼人で開催された第7回全道少年(U-10)8人制サッカー大会・北海道大会網走地区予選大会で、つべつサッカー少年団が準優勝し、7月17日〜19日、帯広市で開催される全道大会の出場を決め、7月6日、谷口正樹監督と少年団のメンバー13名が報告に町長室を訪れました。



佐藤多一町長は「団体競技が出場するのは久しぶりで張り切って練習し、全道大会でも頑張ってください」と激励の言葉を贈りました。



まちのわだい

7月1日、夏の到来を告げるヤマベ釣りが解禁されました。朝方はあいにくの雨模様でしたが、待ちわびた町内外の太公望、釣りファンが、釣り糸をたれやまべ釣りを楽しみました。なお、釣りで鹿柵の扉を開けた時は、必ず閉めるようにお願いいたします。



ヤマベ釣りが解禁！
溪流の釣りを楽しもう

**本とふれあい、あそぼう！
全国訪問「おはなし隊」来町**



7月10日「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」のキャラバンカーが本を積んで中央公民館正面にやって来ました。講談社創業90周年記念事業として、1999年から行われている全国キャラバンで、子どもたちが本とふれあい、読み聞かせの輪を広げようといわれています。キャラバンカーの内部には、約550冊の児童書が展示されており、子どもたちが自由に読むことが出来ました。また、講堂で行われた読み聞かせ会では、子どもたちが真剣に話を聞いていました。

7月18日、19日につべつグレステンスキー場で講習会が行われ、元オリンピック選手で世界を舞台に活躍された岩谷高峰さんがインストラクターとなり、道内各地のスキー愛好家37人が集まりました。



元オリンピック選手が指導
グレステン講習会を開催

**野生大麻撲滅作戦！
大麻の抜き取りを行いました**



7月6日、津別町内の3カ所で、津別ライオンズクラブ、北見保健所、津別警察官派出所、津別町環境衛生協議会、津別町役場の関係者26名が参加して、野生大麻の抜き取りが行われ、2トントラックに満載された大麻が埋め立て処分されました。

北見保健所管内は、野生大麻が多く自生地していることで知られ、大麻を悪用した犯罪が社会問題化していることから、大麻が大きく生育する前に行われました。

また、町内の道々などに10枚の「野生大麻撲滅作戦実施中」の立て看板を設置し、運動の周知を図っています。